

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	職員制服更新事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	総務部	課等名	人事課		包含する細々目	1	2	1	10	10	2	726
政策	9 市民と共に進める行政経営											
施策	94 効率的、効果的な行政運営											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議								
		事業期間	年度～	年度	関連計画 条例等							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	職員	貸与期間を経過した事務服を着用している職員(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする		
			49				
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度			
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	事務服については、規則による貸与期間を経過しているが、服遂行のため、必要最低限のもののみ更新する。あわせて、事務服貸与についての検討を行う。	事務服を更新したことにより服を遂行した職員(人)	18目標	80	最終目標		
			18実績	20	19目標	69	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	貸与期間が経過している事務服について、使用に耐えないもののみ一部更新をし、服遂行する。あわせて、事務服貸与について検討を行う。	18年度の実績 男性事務服、女性冬用事務服のうち、貸与期間が経過している事務服について、本人申出により、使用に耐えないものみの一部更新を実施。	一部更新を実施した職員(人)	20
	19年度計画 女性冬用事務服のうち、貸与期間が経過している事務服について、本人申出により、使用に耐えないものみの買替を実施。男性事務服については、「着用義務を解除する試行」を1年間実施。女性夏用事務服については廃止。	一部更新を実施した職員(人) 貸与期間を経過した事務服を着用している男性職員 夏用事務服の貸与を受けている女性職員	20 440 0	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他	0	
一般財源	301	726	
事業費計(A)	301	726	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	301	726

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	市役所の行財政が、ムリ・ムダ・ムラがなく運営される	集中改革プランの目標達成度(%)	現状値	-	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	100
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 被服貸与規則の策定による	事業を取り巻く状況の変化 他市の状況を踏まえ、18年度には事務服貸与の見直しを実施した。	事業に対する市民や議会の意見 17.6月議会一般質問にて廃止提案。
-------------------------------	---	--------------------------------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 使用に耐えないもののみ一部更新のため、ムダな費用がかからない。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 検討の結果、廃止となれば人件費も含めた経費の節減が可能。ただし、廃止のためには職員意識の向上が不可欠。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 19年度男性事務服の「着用義務を解除する試行」の検証による検討が必要。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 現状では、女性冬用事務服については必要性がある旨、意見集約している。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 事業主であるため		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 一部更新に係る費用及び事務は継続するため。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 職員。 一括更新でなく、必要最低限の一部更新のため

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 21年度予算要求時までに、男性事務服の「着用義務を解除する試行」の検証をし、貸与についての見直しを検討する。 実施年度 20 具体化
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	服装の乱れ 職員意識の向上

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がない	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？		

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	